



二つの「尚綱」の額（後）

尚綱学園には、もう一つ「尚綱」と保管された同一の額を一枚資料室で保管しています。その一枚は、昭和六十九（一九四〇）年、昭和天皇が本校に行幸されたことを記念して、翌年に建てられた行幸記念館の講堂に掲げられています。漢城とは、熊本県出身の政治家安達謙蔵のことです。

安達は、元治元（一八六四）年に熊本で生まれました。佐々友房の次子として学び、卒業後、朝鮮に渡り、明治二七（一八九四）年に「朝鮮時報」等を発行し、社長兼新聞記者として日清戦争にも従軍しました。この直前、内藤儀一郎の媒酌で、大里八郎の三女ユキ（明治二六（一八九三）年、本校別科卒業）と結婚しました。二八（一八九五）年、駐韓公使三浦梧楼とともに在韓の国友重章ら熊本県出身者を率いて李氏朝鮮の王妃、閔妃の暗殺事件に連座しました。その後、熊本に戻り、佐々友房とともに熊本国権党を結党しました（二五（一九〇〇）年、衆議院議員に初当選し、当選十四回をかかれました。この間、加藤高明内閣で通信大臣、浜口雄幸内閣と若槻礼次郎内閣で内務大

臣を歴任しました。なお四四（一九〇五）年、尚綱財団設立の際には、評議員として名を連ねています。昭和十五（一九四〇）年、熊本市鳥崎の三賢堂に建てられた銅像の除幕式で政界からの引退を表明しました。二二（一九四八）年、三賢堂の敷地内にあった原泉荘で亡くなりました。

さて、夫人ユキの父大里八郎は、西南戦争の際、池辺吉十郎が率いた熊本隊の参謀でした。大里は、政府軍に降伏後、明治十二（一八七九）年十月十六日、大隊長池辺、副大隊長松浦新吉郎、参謀櫻山惣四郎らとともに長崎で処刑されました。なお、熊本隊には、一番小隊長として佐々友房がおり、その麾下にいたのが国友重章でした。国友の妻は千壽喜と言います。この二人のことは、「近代肥後異風者伝（七）熊本日々新聞」で紹介されました。国友の父は、重昌または名を古照軒といひ、佐々友房はその塾で学びました。古照軒の娘静子は佐々夫人となります。古照軒の妻安（ヤス）の兄が櫻山惣四郎です。

尚綱女学校が開校した時の役員教員の中に、利我義経櫻田寛誘方（生徒募集係、国友安の名があります。この他に、熊本隊の関係者で本校で教鞭を執った人物として、佐々静子は言

うまでもなく、管見の及ぶところ、国友千壽喜、櫻田伸、安達ユキ、若間恵美などがいます。また、生徒の中にも西南戦争にかかわった人たちの子もがかなりいます。その典型が安達ユキです。このように尚綱女学校の創立には、西南戦争で結成された熊本隊の家族が深く関係していました。佐々は、当時の熊本における教育の重要性を痛感していました。それとともに西南戦争で賊軍となった子とともに教育を授け、生きる術を与えることも重要な任務だと考えていたと思われ

ます。そのことは、夫人の静子が本校同窓会誌「尚綱」に寄せた、創立時代の事でも、「佐々の女子教育に対する考え方や、本校創立の趣旨などが克明に書かれています。

「女子と雖も国家の一員として、又人間として教育に依って琢磨され向上すると云ふ事は、誠に国家の進歩、人間の進歩のため必要不可欠くらざるものであると云ふ趣旨であつた様に思います。」（尚綱二二号）

現代、生きる力を涵養する教育が提唱されています。佐々は明治時代初期にこのことを念頭に多くの課題を抱えています。私たちは、もう一度、学校の存立する意義を問う必要があるのではないのでしょうか。

講座について

社会貢献事業の一つとして平成2年に始めた「尚綱公開講座」。受講ご希望の方々のご期待にもっと応えたいと、昨年度の講座終了後に公開講座委員会において、内容を検討してきました。その結果、現代人類が抱えるさまざまな難問題を克服するためにも、これからの人間はいかにして生きていくべき

かを改めて問い直すという意味を含め、尚綱公開講座のテーマに「人間探求」、本年度から新たにスタートした文化言語学部公開講座のテーマに「人間関係」を掲げることにしました。これからの私達の生き方について、さまざまな視点から皆で考える各講座が9月～10月にかけて開かれました。

テーマ 人間探求 —生活に華をそえよう—

◎開講日時と講座内容

開講日	I (18:00~19:20)	II (19:30~20:50)
9月10日 (月)	開講式 江ノ川柳子に描かれた女性 尚綱大学文化言語学部教授 中村 正市	方言に見られることばの豊かさ 尚綱大学文化言語学部講師 富山 真一
9月11日 (火)	中国古典の恋愛歌 尚綱大学文化言語学部講師 加藤 聰	「本との出会い」 —情報社会における図書流通— 尚綱大学文化言語学部講師 角田 裕之
9月12日 (水)	腸内細菌と健康 —乳酸菌の秘めたる能力— 尚綱大学生理学部講師 木村 宏和	お手軽シェイプアップ —身体組成と運動・栄養— 尚綱大学生理学部准教授 田中 真知子
9月13日 (木)	子育てに華をそえよう (I) 尚綱大学短期大学部 総合生活学科准教授 谷口 卓	子育てに華をそえよう (II) 熊本県山鹿保健所保健予防課長 熊本県県立中央児童相談所主任 堀内 香代子
9月14日 (金)	色彩で楽しく健康増進 色彩空間めぐみ・みんぐ代表 米盛 麻美	全講座を通じての 総合的な質疑応答 講師全員出席

会場：九品寺キャンパス大学1号館 10階ホール



テーマ 人間関係 —家庭・学校を中心に—

◎開講日時と講座内容

開講日	I (9:30~10:50)	II (11:00~12:20)
9月22日 (土)	快適な人間関係の秘訣 —シェイクスピアと「熊書」を中心に— 尚綱大学文化言語学部教授 中村 幸士郎	師としての孔子 —「論語」にみる師弟関係— 尚綱大学文化言語学部講師 加藤 聰
9月29日 (土)	言葉と人間関係 尚綱大学文化言語学部講師 富山 真一	ドライヤーが描いた社会と人間 —「スター・キャリー」と「アメリカの魂」の 今日的意味を考え— 尚綱大学文化言語学部准教授 田口 誠一
10月6日 (土) (情報処理型)	図書・情報検索の基本 —図書・雑誌の探し方— 尚綱大学文化言語学部講師 畑田 秀将	家でパソコンを楽しもう 尚綱大学文化言語学部講師 釜賀 誠一
10月13日 (土)	『雨月物語』『菊花の約(ちぎり)』 における母の教育 尚綱大学文化言語学部教授 中村 正市	アメリカ人の目から見た日本 尚綱大学文化言語学部講師 ジョシュ・ノーマン
10月20日 (土)	人格教育のすすめ —家庭環境におけるよい習慣の形成— 尚綱大学文化言語学部講師 吉田 誠	「星の王子さま」 —サンタジュベリの伝説がかったこと— 尚綱大学文化言語学部教授 荒尾 泰子

会場：楳木キャンパス尚綱大学

